

議員立法で土法改正へ

自民建築 設計議連 3団体提案受け勉強会



自民党建築設計議員連盟（会長・額賀福志郎衆議員）は6日、東京・永田町の党本部で総会を開いた。日本建築士会連合会（士会連合会、三井所清典会長）、日本建築士事務所協会連合会（日事連、三栖邦博会長）、日本建築家協会（JIA、芦原太郎会長）の3団体が共同提案している「建築物の設計・工事監理の業の適正化および建築主等への情報開示の充実」について説明を受け、議員立法での建築士法改正に向けた勉強会を設置することを決めた。

二〇一二年、自民党本部で

あこがりする額賀会長（中央）

2013.12.9
建設工業

冒頭、額賀会長は「かねて問題となっていたこと

とされる3団体が提案していく

とされた。その努力に報いる

ため、議連でも議員立法

で業界の発展に全力を尽くしたい」とあいさつした。

国土交通省の井上俊之
住宅局長は「（提案内容には）これまでトライし

たが法制的に実現できなかつたものや新しいものがある。内容について勉強させていただきたい」と

述べた。

三栖日事連会長が提案内容を説明。それを受け出席議員からは「無登録事務所が規制を受けずに

参院議員は「提案内容を整えることは、国民の利益につながるし、建築士の皆さんのが自信を持って

二衆院議員は、法制化に向けた勉強会の設置を提案。座長に同氏が就き、14年1月22日に初会合を開くことも決まった。

議連事務局長の山本有

丸投げ（一括再委託）を前提に業を行つてここののは法としておかしい」「時代に即し消費者に分かりやすい法令を整えてほしい」「（提案を）一日でも早く実現するため議員でチームを作り法制化に向け検討に入るべきだ」といった意見が出た。

丸投げ（一括再委託）を

「する」と意義を強調。幹事長の渡辺紀三朗衆院議員は「26年間議連に参加し、常に3団体がまとまるようになってきた。それをクリアした以上、しっかりと受け止める」と述べ、議員立法に力を尽くす考えを表明した。

仕事をするベースにな

る」と意義を強調。幹事長の渡辺紀三朗衆院議員は「26年間議連に参加し、常に3団体がまとまるようになってきた。それをクリアした以上、しっかりと受け止める」と述べ、議員立法に力を尽くす考え方を表明した。